

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

#### 外部評価の結果

調評	
全体を通して（特に良いと思われる点など）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水島地区と倉敷市街を結ぶ道路から、少し横道に入った静かな田園地帯にホームがあります。四季の移り変わりを感じながら、生活することができます。</li> <li>・広い庭先には、木々や花があふれ、木製のプランコやベンチが置かれています。敷き詰められたレンガは角の取れた割れにくい素材を使用するなどの心配りがあり、小さい子どもでも出入りしやすい環境です。</li> <li>・日中、門や玄関は施錠されてなく、誰でも自由に出入りできます。時候の良い時は、入居者は毎日のように周辺を散歩されています。周囲には建物が少なく、散歩している様子を建物の中から見守る事ができます。</li> <li>・建物内は共有部分が広く、要所にソファが置かれ、少人数でくつろげるスペースがあります。ウッドデッキは日当たりが良く、天気の良い日にはお茶をするなど、有効に利用されています。全体的に、ゆったりと落ち着いて生活できる雰囲気があります。</li> <li>・全体的にバリアフリーになっている点や、浴室・トイレ・ロビーに床暖房が取り入れられている点など、高齢者に優しい環境づくりがされています。</li> <li>・入居者・職員共に笑顔が多く、職員は入居者のペースに合わせた静かな対応をされています。</li> <li>・四季を通じての行事が多く、近隣の住民との交流の機会も作られています。</li> </ul>	
特に改善の余地があると思われる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に夜勤帯の記録が、量的にはしっかり書かれています。しかし、あった事実の羅列が多いように感じました。アセスメントなどを入れ、後続の勤務者に活かせるような記録のとり方を工夫されてはいかがでしょうか。</li> <li>・日課表の内容と表現が、職員中心で堅く感じます。また、「起床」「就寝」など、団 thể生活を思わせるような表現もありますので、再検討されてはいかがでしょうか。</li> <li>・寒い時期や暑い時期に体を動かす機会が少ないようです。生活リハビリ等を取り入れ、このグループホームとしての特徴を出されるのも良いのではないのでしょうか。</li> <li>・緊急時や、日常起こりうる事故、高齢者の特性などについての勉強会を開催し、職員の認識レベルがより向上し、統一が図れるよう計画されてはいかがでしょうか。</li> </ul>	

事業所名	グループホーム花の里・萌
日付	平成16年12月24日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院（老人病棟）での看護業務歴 18年 病院での痴呆性高齢者の看護・介護業務歴 17年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、「入居者から教えられることが多く、共に学びながら楽しく生活していきたい」と考えています。</li> <li>・今は、入居者の方から「今日は何もしないの」といわれる日もありますので、みんなで楽しくできるレクリエーションや、オリジナルの体操を考えていきたいと思っています。</li> <li>・管理者の方は、職員、入居者全員で1泊旅行ができればいいという願いを持っています。共に生活していこうという気持ち伝わってきます。</li> </ul>		

#### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	昔の体験や、入居前の体験を引き出しながら、落ち着いて生活できるようにと考えています。現在は、百人一首、花札、グランドゴルフなどを、職員も教えてもらいながら一緒に楽しんでいます。		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

#### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関わることは、大きな声を出さないようにしています。</li> <li>・居室に入る時は、たとえご本人が在室していなくても、必ずノックをすることになっています。</li> <li>・居室は、入居者が中から自由に施錠できます。職員は、夜間の見回り時の開錠について、事前に入居者に説明をして、同意を得ています。</li> <li>・畑の水やり、草取り、魚のえさやり、洗濯、調理など、一人ひとりでできる力が活かせるように、声をかけながら取り組んでいます。</li> </ul>		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	事故報告書を作成し、再発に向けてみんなで話し合い、対策を立てています。今後は、ヒヤリハットについても情報を集められてはいかがでしょうか。		